



太田川駅東歩道「ランの道」 約7,000株のランが見頃を迎えます ～ランに親しむイベント「ランの道ウォーク」開催～

太田川駅東歩道「ランの道」では、市民と行政が一体となって、12種類、約7,000株のランを、延長約600mに渡って植栽するという、全国的にも類のない取り組みを行っています。この取り組みは、令和6年2月に台湾で開催された世界蘭会議2024において、愛知教育大学名誉教授の市橋正一氏により発表されました。

5月上旬からは、市橋正一氏によって独自に品種改良された、色とりどりの「シラン（紫蘭）」や樹上に着生する「セッコク（石斛）系デンドロビウム」が見頃を迎えることから、5月18日（土）に、ランの道づくり植栽会やスタンプラリーを通じて、ランに親しむイベント「ランの道ウォーク」を開催します。

参加者には、身近な場所でランを育ててもらえるように、ランの苗をプレゼントしますので、ぜひご参加ください。（先着で植栽会50人、スタンプラリー100人）

■ランの道づくり植栽会（事前予約制）

- とき

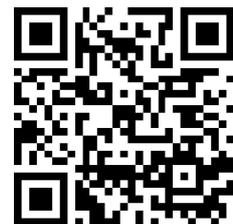
5月18日（土）13：30～（小雨決行・荒天中止）

- 集合場所

市民活動センター大会議室（ソラト太田川3階）

- 申込み

申込みフォームまたは花と緑の推進課（4階）へ（電話可）



↑ 申込みフォーム

■ランの開花を楽しむスタンプラリー（予約不要）

- とき

5月18日（土）10：00～15：00（小雨決行・荒天中止）

- 受付場所

太田川駅東「芝生広場」



↑ 過年度の植栽会（樹木の幹や枝に着生ランを植え付けている様子）



↑ 5月2日の開花状況

■世界蘭会議2024で紹介されました

令和6年（2024年）2月に台湾で開催された世界蘭会議で、愛知教育大学名誉教授の市橋正一氏に、ランの道づくりの取り組みについてご紹介いただきました。

5月18日（土）のランの道づくり植栽会で市橋教授からお話をいただく予定です。



↑世界蘭会議2024（台湾開催）での発表の様子

問合せ	都市建設部花と緑の推進課 担当：戸澤、星川（とざわ、ほしかわ） 052-603-2211、0562-33-1111（内線435）
-----	--



らんのまち
Tokai City

入場無料

ランのまち、
東海市であなたのランを見つけに出かけよう。



太田川駅東歩道 ランの道ウォーク

4月中旬から5月下旬まで、
12種類、約7,000株のランが楽しめます。

令和6年5月18日(土) 10:00~15:00

雨天中止

ランの道づくり植栽会

13:30~

事前
予約制

参加者にはランの
苗をプレゼント!

地域の皆様にて
「ランの道」に
植栽していただきます



ランの道 監修 愛知教育大学名誉教授
市橋 正一氏による講演会実施

お問い合わせは主催者 東海市まで



スタンプラリー

10:00~15:00

ポイントを全部回って、
シートにスタンプを押そう!
完成したシートを持って
本部で景品と交換しよう!

詳細は本チラシの裏面をチェック!



ランの花装飾

常蓮寺 手水場

[スタンプラリーポイント]



主催 | 東海市

主管 | 株式会社まちづくり東海

produced by
知多メディアネットワーク株式会社

お問合せ |

TEL 0562-77-0789 [株式会社まちづくり東海 平日 9:30~17:00]



同時
開催

パン & スイーツマルシェ 太田川

入場
無料

雨天
決行

パン

スイーツ

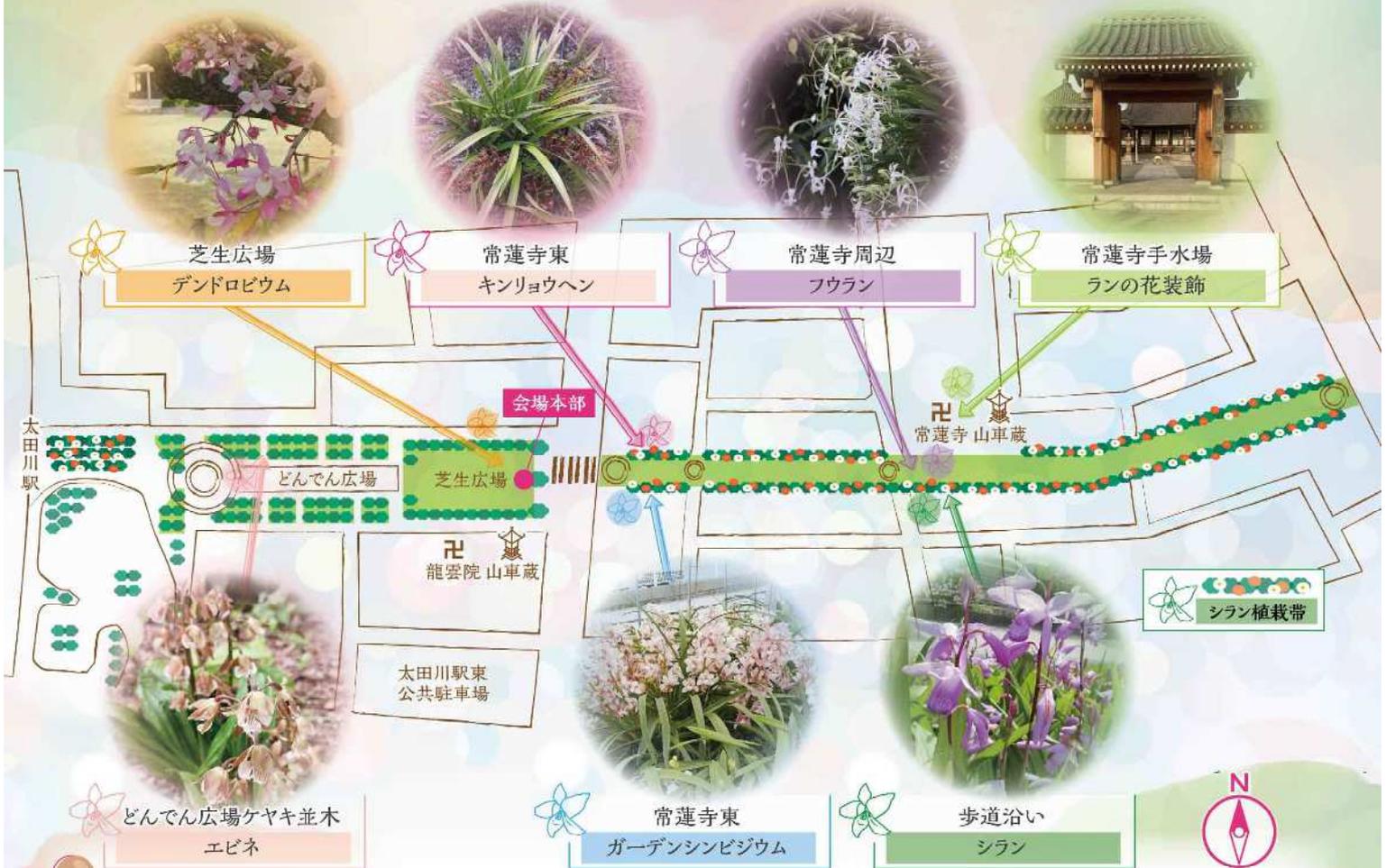
ワークショップ



詳しくはこちら



太田川駅東歩道 ランの道



5月18日(土)のスタンプラリーは…

ランの道の見どころと同時開催のイベント各所にあるスタンプを押してシートを完成させよう!完成したらランの道ウォーク会場本部でランの苗と交換しよう!

※景品は先着順です ※ランの苗はなくなり次第終了し、他景品となります
※スタンプラリーシートは各イベント本部にて配布しています

ランのまち、東海市であなたのランを見つけに出かけよう。

東海市 花と緑の推進課 ランの道

さらに詳細を知りたい方はこちらのQRコードから市公式ページへ



ランの道

名鉄太田川駅から東へ延びる歩道約600mには、シランやセッコク系デンドロビウム、フウランなど、12種類のランが約7,000株植栽されています。なかでもシランは、愛知教育大学名誉教授の市橋先生が品種改良された、個性あるオリジナルの16品種をはじめ、珍しい色の野生種等、他ではなかなか見ることができない貴重な花を楽しむことができます。

ランの道 監修 愛知教育大学名誉教授 市橋正一氏



アクセス

- ・公共交通機関の場合
名古屋鉄道太田川駅すぐ(駅東側)
- ・車の場合
西知多産業道路「加家IC」または「横須賀IC」より約5分
知多半島道路「大府東海IC」より国道155号線より約10分

車でお越しの場合は太田川駅東公共駐車場をご利用ください。





名鉄太田川駅から東へ延びる歩道約600mには、シランやセッコク系デンドロビウム、フウランなど、12種類のランが約7,000株植栽されています。

なかでもシランは、愛知教育大学名誉教授の市橋先生が品種改良された、個性あるオリジナルの16品種をはじめ、珍しい色の野生種等、他ではなかなか見ることができない貴重な花を楽しむことができます。

ランの道 監修

愛知教育大学名誉教授
市橋 正一 氏



愛知教育大学の教授として、花き園芸学、ランの生物学等の分野の研究に携わってこられ、東海市の生産者とも長年にわたり関わりのあったご縁から、太田川駅東歩道「ランの道」の監修をしていただいています。

令和6年2月に台湾で開催された「世界蘭会議2024」において、世界のラン専門家や愛好家に向けて「ランの道づくり」についてご紹介いただきました。

Supervisor

世界蘭会議 2024



管理ボランティア

大田まちづくりの会
蘭の道グループのみなさん



Volunteer



水やり、雑草取りなど、日常管理の中心を担ってくださっています。

訪れる人たちに楽しく散策してほしい、そして、「ランのまち」東海市を次世代へ引き継いでいきたいという思いをもって、日々ランの道づくりに尽力されています。



ランのまち、東海市。

＜始まりは牡丹栽培から＞

本市の花卉園芸の歴史を辿ると、始まりは江戸時代の中期、現在の大田町で牡丹栽培が行われていたことがきっかけと言われています。

大正時代には村の特産となり、花を見に訪れる人々のため、当時の太田川駅南に臨時の停留所がつけられるほど盛んであった牡丹栽培ですが、昭和17年(1942年)頃には、戦時中の作付制限等の理由から、姿を消してしまいました。



＜観葉植物時代の到来＞

知多半島で観葉植物の栽培が始まったのは、昭和28年(1953年)からと言われていますが、販路が開拓されるにつれ、本市でも盛んに生産されるようになりました。アナナス、観音竹、ヤシ等、様々な観葉植物が栽培されましたが、なかでもアナナスはブームが起こり、栽培されているところへ観光バスが訪れることもありました。



＜洋ランの栽培が増え始める＞

昭和35年(1960年)頃、観葉植物時代の到来とともに、洋ランの栽培も始まりました。昭和40年(1965年)代中旬にメリクロン苗(培養技術により増やした苗)が普及すると、大量生産が可能になったことで、生産者も増え、洋ランは本市の特産品になっていきました。



＜未来に繋げていくために＞

「ランの道」づくりは平成29年度(2017年度)から始まりました。太田川駅周辺の区画整理事業に伴い、「大田まちづくりの会」の皆さんから、まちの活性化のため、市の特産であるランを植栽してはどうかと提案をいただいたことがきっかけです。

東海市の新しい観光名所になることを目指して、市民参加による植栽会や、日常管理など、多くの人の協力のもと、ランの道づくりは現在も続けられています。



— 植栽会は、あいち森と緑づくり税を財源とするあいち森と緑づくり事業により実施しています。 —

【セッコク(石斛)系シンビジウム】

開花期:5月



太田川駅東歩道

ランの道

見どころガイド



【シラン(紫蘭)]
開花期:5月



市橋正一氏 シラン(紫蘭)コレクション



えりか

咲き始めの花弁は黄色を帯び、後白色に。リップは丸形。



りすみ

繊細な感じ。実態に繊細です。

市橋先生が品種改良したシランには、研究に協力してくれた学生さん等の名前が付けられています。



あやの

美しい色。サクラのように可愛い。リップは四川黄花小白笠ゆすり。



ゆり

独逸で、地植えすると大きく育ちます。シラン(紅)が父種。



きょうこ

独逸で地植えすると大きく育ちます。シラン(白恋)が母種。



しおり

独逸で地植えすると大きく育ちます。シラン(紅)が母種。



ひろこ

シラン(紅)が母種。花が大きい品種です。



たえみ

シラン(紅)が母種。リップは母種に似る。



えりな

シラン(紅)が母種。リップは父種に似る。



まこ

独逸で大きく育ちます。シラン(紅)が父種。リップの黄色は母種由来。



みきこ

独逸で大きく育ちます。シラン(紅)が父種。リップの黄色は母種由来。



さとこ

シラン(紅)が母種。花弁のピンクが特徴。



りょうこ

独逸で立体的な感じの花。シラン(紅)が母種。



ゆうこ

シラン(白)が母種。独逸。雌玉に変わった形で平面的な感じの花。



さくら

リップが細やかであるが掴みやすい。サクラを逆想させる花。



さえ

白弁で黒めのリップは、四川黄花小白笠ゆすり。



シラン 流通種



四川小白笠

野生種



四川黄花小白笠

野生種



雲南小白笠

野生種



① シラン(5月頃)



② セッコク系(5月~6月頃)



③ フウラン(6月頃)



④ ガーデンシンビジウム(4月~5月頃)



⑤ ネジバナ(6月頃)



⑥ キンリョウヘン(4月~6月頃)



⑦ オンシジウム(5月頃)



⑧ ミニカトレア(4月~5月頃)



⑨ サギソウ(7月~8月頃)



⑩ シュンラン(4月頃)



⑪ エビネ(4月~5月頃)



⑫ キエビネ(4月頃)

